

【 水産林務部所管分 】

平成28年第2回北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 平成28年6月27日(月)

質問者 公明党 吉井 透 議員

答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>六 道産CLTの活用促進</b></p> <p>次に、道産CLTの活用促進についてであります。</p> <p>新たな建築材料であるCLTは、施工性などに優れ、鉄筋コンクリートに代わる資材としての可能性を持っており、国では、建築基準法に基づき、スギに対応したCLTの基準強度や一般的な設計法などを告示し、今後、CLT建築の申請手続きなどが簡易になると承知をしております。</p> <p>道内の主要樹種であるカラマツ、トドマツは、スギに比べ強度が強いことから、CLTとして利用し、森林資源の循環利用を推進する必要があると考えますが、道としてどのように取り組んでいくのか伺います。</p>	<p><b>○高橋知事</b></p> <p>次に、道産CLTの活用促進についてであります。利用期を迎えている本道のカラマツやトドマツは、スギと比較して材質が固く、強度性能に優れていることから、今後、これらの資源を活用したCLTの普及・定着を図り、森林資源の循環利用を推進していくことが重要であります。</p> <p>このため、道といたしましては、CLTを使った建築の手続きなどが容易になる国の基準づくりが進んでいるカラマツに続き、トドマツについても、早期に基準が制定されるよう、今年度から、林産試験場と連携して、強度や耐久性の実証試験などに取り組むこととしているところであります。</p> <p>また、CLTの需要拡大や供給体制の整備を計画的に進めるための方針を策定するとともに、公共施設はもとより、住宅や店舗など民間施設での利用促進に向けたモデルプランを作成をし、関係の方々に広く発信するなど、道産CLTの活用を一層推進してまいりたいと考えております。</p>